

第1次  
案内

第10回 九州教室の声に学ぶ会

# 長崎の集い

後援／長崎県教育委員会・長崎市教育委員会(申請中)・理想教育財団

2022年09月23日  
長崎市出島メッセ(JR長崎駅前)

第10回 九州教室の声に学ぶ会「長崎の集い」の案内です。

みなさん、ぜひ、長崎で集いましょう。学び浸り、明日の授業づくりに役立つ時間になることをお約束します♪

## 学習課題・《私の問い》・コンパクトライティング による単元づくりの魅力

ーはがき用紙を使ったコンパクト・ライティングの効果ー

### 第1部 発表 単元にコンパクトライティングを取り入れることの効果

西原 宏一(佐賀市教育委員会 指導主事)

「書くこと」で本当に理解できることや、理解するためには「書くこと」が効果的であることをわたしたちは経験的に知っています。しかし、「どのようなことを書くのか」「どのように書くのか」「書いたものをどのように評価するのか」ということについての具体的な指導方法を語れるところまでは至っていません。

第1部では、「何を」「どのように」を明確にして書くこと(コンパクトライティング)で可視化された学習の成果を具体的な数字をもとに紹介します。

### 第2部 演習 ここからはじまる「コンパクトライティング」

達富 洋二(佐賀大学教育学部 教授) × 参加の皆さん

コンパクトライティングは大きく二つの学習として設定することができます。一つは「考えるための表現として書くこと」、もう一つは「自覚するための記述として書くこと」です。

第2部では、「考えるための表現として書くこと」として、説明文を読むことにおける「パラフレーズ」、語彙を学ぶことにおける「4コマことば」、対話的な学びにおける「学び日記」、メタ的な学びにおける「学習の記録」等について演習を通して体験する時間とします。

### 第3部 対談 「校内研究が学校を成長させる」

本多ひとみ(長崎県時津公民館館長、元長崎県時津町立時津東小学校校長)

達富 洋二(佐賀大学教育学部 教授)

わたしたちの仕事の一つに「研究」があります。とりわけ、「校内研究」はその大きな柱です。校内研究の時間が毎週の決まった曜日に設定されている学校もあれば、月に数度の放課後に設定されているところもあるでしょう。この「校内研究」はあくまでも子どもへの指導のためのものです。校内研究の成果は子どもの姿としてあらわれ、わたしたちも手応えを感じたいものです。

第3部では、校内研究が子どもを育み、教師を伸ばし、学校を成長させることを対談のスタイルでみなさんと共有したいと考えています。昨年度まで長崎県の教員として活躍された本多ひとみ氏に具体的なエピソードをお聞きし、これからの校内研究を取り組みがいのあるものにしていくきっかけを語り合います。

## 参加申し込み

◆ 参加費 無料 (先着40名/状況に応じて若干の増定員の予定もあります)

◆ 申込方法 下のURL等から申し込んでください。

<https://forms.gle/y6VPMvTehpUBgin98>

